

令和5年度 学校経営方針

津市立南が丘小学校

津市教育振興ビジョン基本構想

「夢や希望をもち、
国際社会に生きる自立したひとづくり」
価値観の多様化・国際化が進むこれからの社会を、子どもたちが夢や希望を持ち続け、自他の人権を尊重し、望ましい人間関係を築きながら、たくましく生き抜いていくための力に富む人づくりをめざします。

南が丘中学校の教育目標
自立・尊重・創造

南が丘小学校の教育目標

未来を切り拓く、たくましい子どもの育成
未(あ)来にむかって、(あ)かまとともに、(あ)ん
なで、(あ)んばり、(あ)もいやりをもち、(あ)しく
生きる子



保護者・地域の願い
(南が丘学校支援委員会からの提言)
健康で安心な学校生活
社会性の育成
確かな基礎学力
充実した学習
学校運営の改善
教育環境の整備
保護者・地域との協力

8つの重点取組と具体的な行動計画

1 地域とともにある学校

- 学校教育活動の様子の積極的な発信
- 公開デー等を活用した学校教育活動への理解・参画
- 地域リソース(人、自然、文化、産業等)の活用
- 学校支援委員会、PTA、関係諸団体等との協働

2 小中一貫教育、保幼小の連携

- 6つの推進部会による小中一貫教育の推進
- 協働による行事及び取組の実施
- 相互の授業参観と情報の提供・交流
- 円滑な接続に向けた就学前教育・保育との交流

3 確かな学力と楽しい英語教育

- わからないことやまちがいを大切にできる授業づくり
- 聞き合い、伝えあう活動を通し、学ぶ楽しさを実感できる授業づくり
- 毎時の授業において、めあてを意識し、見通しを持たせることができる授業づくり
- 学力調査結果等の検証と、課題改善に向けた取組
- 教科指導等におけるタブレット端末による効果的な学習の充実
- 小中のスムーズな接続と英語専科教員による効果的な専門的指導の研究
- 各発達段階(低・中・高)のカリキュラムにもとづき、児童の興味関心を高める英語教育の推進

4 人権教育

- 誰もが安心できるとともに、子どもの人権課題をふまえた集団づくり
- 子どもの学びを支えるため、自己肯定感の醸成及び、違いを大切にし、互いを尊重する教育の実践

めざす子ども像

《自分で考え、判断し、行動する子》

- (あ)・自ら進んで学び、聞き合い、自分の考えを表現できる子
- (あ)・自分を大切にするとともに、誰に対しても思いやりのある言動ができる子
・進んで、元気にあいさつができる子
- (あ)・めあてを持って、健康な体づくりができる子

めざす学校像

- ・毎日が楽しい学校
- ・保護者に信頼される学校
- ・地域とともにある学校
- ・小中が一体となった学校

めざす教師像

- ・ともに学び合い、互いに磨き合い、よりよい授業を創る教師
- ・目標に向かって創意工夫し、協働する教師
- ・子どもの心に寄り添い、支え合う学級集団づくりをする教師

5 特別支援教育

- 個別の指導計画、個別の教育支援計画の作成
- すべての子どもが「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」が実感できる教育の創造
- 保護者や専門機関等との連携

6 生徒指導

- 子どもの生活課題の把握と多面的・総合的な児童理解
- 主体的にきまりやルールを守る規範意識の向上
- あいさつの励行、トイレのスリッパをそろえる習慣、清掃指導の徹底
- 中学校や家庭・地域等との連携

7 健康安全教育(安全・食・保健)

- 子どもが自分で身の安全を確保できる安全教育(安パト、自主防等との連携)
- 運動や食生活について、めあてを持ち、自分の健康を考える取組

8 教職員の資質・チーム力向上、総勤務時間の縮減

- 指導力の向上、若手を対象にした研修の充実(ブチ研修会、ちょこっと参観、お気軽参観、教員文庫等の積極的な活用)
- 校務分掌の見直しによる働きやすさと健康管理
- 勤務時間縮減活動指標
 - ・時間外労働時間上限の順守(月45h、年360h)
 - ・時間外労働時間 各自昨年度実績10%減
 - ・休暇取得日数 各自昨年度実績3日以上増
 - ・NO会議デー及び定時退校デー 月1日以上
 - ・60分以内に終了する会議の割合 80%
- 教職員の多様な働き方を尊重する環境づくり

学校評価の要素 : 児童アンケート、南が丘学校支援委員会アンケート、学力学習状況調査等
評価に係わる組織 : 南が丘小学校学校運営協議会(意見)、南が丘学校支援委員会(提言)